

古代文化センター令和3年度調査研究年報

■古代文化センター企画運営委員会

〔1〕第1回（令和3年9月22日（水） 於：松江市殿町 サンラポーむらくも）

出席委員 9名（佐藤、久留島、坂井、関沢、仁藤、引野、俵木、山村亜紀、山本）

(1) 議 事

① 基礎研究

- 1) 考古基礎資料調査研究
- 2) 風土記調査研究
- 3) 祭礼行事調査研究
- 4) 中世・近世史料の多角的研究

② テーマ研究

- 1) 出雲神楽の研究
- 2) 古代出雲と吉備の交流
- 3) 近世近代の交通と地域社会経済
- 4) 出雲と伊勢
- 5) 古代隠岐の形成と特質
- 6) 島根県域における弥生社会の総合的研究
- 7) 中世山陰の戦争と地域社会

(2) 報 告

- ① 古代文化情報発信事業
- ② 古代歴史文化に関する共同調査研究事業
- ③ 古代文化の郷「出雲」調査事業・史跡出雲国府跡発掘調査
- ④ 古代出雲歴史博物館での企画展実施状況

〔2〕第2回（令和4年3月16日（水） 於：松江市殿町 サンラポーむらくも）

出席委員 7名（佐藤、坂井、関沢、仁藤、引野、山村亜紀、山本）

(1) 議 事

① 基礎研究

- 1) 考古基礎資料調査研究
- 2) 風土記調査研究
- 3) 祭礼行事調査研究
- 4) 中世・近世史料の多角的研究

② テーマ研究

- 1) 出雲神楽の研究
- 2) 古代出雲と吉備の交流
- 3) 近世近代の交通と地域社会経済
- 4) 出雲と伊勢
- 5) 古代隠岐の形成と特質
- 6) 島根県域における弥生社会の総合的研究
- 7) 中世山陰の戦争と地域社会

(2) 報 告

- ① 古代文化情報発信事業
- ② 古代歴史文化に関する共同調査研究事業
- ③ 古代文化の郷「出雲」調査事業・史跡出雲国府跡発掘調査

④ 古代出雲歴史博物館での企画展実施状況

■調査研究事業

〔1〕基礎研究

(1) 考古基礎資料調査研究

① 墓制調査

昨年度、本書に報告を掲載した西百塚山古墳群・才光寺古墳群（松江市大草町・八雲町所在）について、分布調査の補足調査を行った。古墳の規模などの再計測を行ったほか、あらたに西百塚山古墳群で横穴墓1基、才光寺古墳群において古墳13基を確認した。このうちK128は全長12.8mの小型前方後円墳である。また、昨年度報告した西百塚山古墳群K112が全長18.4mの前方後円墳であることを確認したほか、才光寺古墳群K113の埋葬施設が横穴式石室であることを確認するなど、大草丘陵古墳群のあり方を検討する資料を得ることができた。これらの分布調査の成果は、本書報告中に公表している。

また、これまでの東百塚山・西百塚山古墳群の踏査、測量調査で採集された土器や埴輪などの資料整理を行った。東百塚山・西百塚山古墳群の遺物について提示するとともに、古墳の築造時期や古墳群の形成を考えるうえで基礎的な情報について提示した。これらの成果についても本書報告中に公表している。

もうひとつの研究の柱として、令和元年度から着手した前期古墳の基礎的研究では松江市鹿島町名分に所在する鶴灘山古墳群の詳細分布調査を実施した。この調査は、島根県古代文化センターと島根県埋蔵文化財調査センターが共同で令和3年4月に実施した。この古墳群は標高約44mの鶴灘山の頂部に立地する6号墳（前方後円墳：全長44m）と8号墳（円墳：径20m）を盟主墳とする。6号墳から南～南西に延びる尾根上に円墳8基、方墳5基からなる南支群を確認した。8号墳から南東に延びる尾根上に方墳5基からなる南東支群を、北に延びる尾根上に方墳7基からなる北支群を確認した。これにより鶴灘山古墳群は27基以上の古墳で構成されていることが確認された。北支群は低墳丘で小規模な方形墳主体であるのに対して、南支群は円墳を主体として墳丘規模も大きい。南東支群は両者の中間的であるが方形墳中心であった。

この結果、鶴灘山古墳群は前方後円墳の6号墳を盟主として、小支群の築造基点となる古墳はやや規模の大きい円墳であることが推定される。近隣の奥才古墳群と比較するとほぼ同時代の築造とみられるが、鶴灘山古墳群の中で円墳系が優位であるが、奥才古墳群では方墳が優位である状況が両者の相違点といえる。このように古墳時代前期における講武平野の集団関係や集団差を考えるうえでも貴重な成果となった。

（岩崎・岩橋・岩本・角田・鈴木・仁木・東森・廣江・松尾・吉松優）

② 基礎資料調査（出土品再整理）

本事業は、過去に島根県教育委員会が発掘調査を実施し、現在埋蔵文化財調査センターで収蔵している重要遺跡出土品のうち、報告書非掲載遺物を中心に再整理をおこなってその内容を明らかにするものである。その成果は展覧会や刊行物で広く活用するとともに、出土品を検索できるようデータベース化をはかることを目的としている。

平成29年度より、弥生時代の拠点集落として著名な朝酌川遺跡群（松江市西川津町）の出土品の再整理に着手しており、『西川津遺跡Ⅰ』（島根県教育委員会1980）調査分と『西川津遺跡Ⅱ』（島根県教育委員会1982）調査分の出土品については昨年度末に報告書を刊行した。

今年度からは、あらたに西川津遺跡海崎地区（『西川津遺跡Ⅲ』（島根県教育委員会1987）、『西川津遺跡Ⅳ』（島根県教育委員会1988）、『西川津遺跡Ⅴ』（島根県教育委員会1989））の再整理を開始し、報告書非掲載の弥生土器を対象に分類をおこなった。また、土層堆積状況の整理を実施し、分類した弥生土器と出土層位の対応を確認した。

（今福・鈴木・深田）

③ 生産遺跡調査（県内鋳造遺跡・鋳物師関連資料集成、古代窯業生産）

a. 県内鋳造遺跡・鋳物師関連資料集成

島根県内の鋳造遺跡（遺構・遺物）や鋳物師関連の伝世資料などを集成・調査し、古代から近代にかけての鋳造品の生産・流通の研究をする上での基礎資料をまとめることを目的とする。昨年度に引き続き、これまでの基礎調査成果を総括する作業を進め、報告文を編集して本書に掲載した。本書にまとめた内容は、①

宇波鋳物師関連資料の調査、②石見国鋳物師関連資料の調査である。また上記以外に、過去の富田川河床遺跡における発掘調査で出土した鋳造関連遺物の抽出・分類・リスト化をおこなった。

b. 古代窯業生産（須恵器・埴輪等の産地分析）

県内の須恵器・埴輪について、埋蔵文化財調査センターに設置している蛍光X線分析機器で胎土分析をおこない、遺物の型式学的研究とあわせ産地や製品の流通について検討するための基礎データを得ることを目的とする。

昨年度より、島根県が所蔵する出雲地域の須恵器窯出土品について胎土分析に着手した。分析対象とする資料選別をおこなった門生山根1号窯、門生黒谷1号窯、渋山池古墳群1号窯、古曾志平廻田3号窯のうち、出雲地域では初現期（古墳時代中期）の窯である門生山根1号窯について実測・写真撮影等の分析前記録をおこない、試料調製作業を実施した。

（岩本・上山・角田・勝部・東森・東山・廣江・松尾・目次・渡部）

④ 青銅器調査（荒神谷遺跡青銅器調査）

文化庁が平成22年度～令和2年度に実施した荒神谷遺跡出土青銅器の保存修理事業にあわせて、考古学的情報を追加・修正し、最新の知見を集約するもの。昨年度をもって文化庁の保存修理事業が完了したことから、今年度はこれまでの調査成果をまとめた報告書を編集・刊行した。報告書の構成は、1）経緯、2）考古学的所見、3）保存修理・青銅器の取り扱い、4）まとめ、とした。保存修理の過程では、青銅器の製作工程、特に鋳造～研磨に関する様々な知見が得られている。報告書ではこれらを総括したうえで、荒神谷青銅器群の評価や今日的意義について述べた。また、日常的な保管・展示活動を通じて国宝青銅器の取り扱い面における様々なノウハウが蓄積されていることから、こうした情報についても盛り込み、今後に供するものとした。なお、客員研究員である吉田広氏、村田裕一氏には初期段階から参画いただき、調査研究の重要な部分を担っていたうえ、報告書には貴重な寄稿をいただいた。

（澤田・原田・増田・松尾）

⑤ 客員研究員と共同の検討会

・2022年3月11日 埋蔵文化財調査センター

(2) 風土記調査研究

① 基礎資料調査

a. 風土記写本写真一覧表・当県教委所蔵風土記写本の写真データのインターネット公開（2021年7月1日～）
当センターが撮影した『出雲国風土記』等の写本写真のうち、研究者・県民等が閲覧できるものを一覧表に整理し、当センターHP上に公開した。また国文学研究資料館の新日本古典籍総合データベースにて、当県教育委員会所蔵の『出雲国風土記』写本（古代文化センター本・勤修寺家本・菅野本）の写真を公開した。

② 歴史景観復元調査

a. 国府周辺の研究（風土記の丘地内調査支援）

第33回史跡出雲国府跡発掘調査指導委員会（2021年10月6日、埋蔵文化財調査センター研修室）

（出席者）平石充・吉松大志

b. 島根県埋蔵文化財調査センター講演会「史跡指定50周年 ここまでわかった出雲国府！」

（動画配信のみ）

（報告）吉松大志「文献史料が語る国府と政庁のすがた」

③ 出雲国風土記校訂・注釈本作成

今年度は、出雲国風土記校訂・注釈本のうち、風土記地図・写本集成を収載した第二分冊を刊行した。

a. 令和3年度『出雲国風土記』校訂・注釈本作成指導会（2021年12月17日古代文化センター 18日オンライン会議）

『出雲国風土記 地図・写本編』の進捗状況の報告、書籍の体裁や内容等について指導を受けた。

（指導者）佐藤信（東京大学名誉教授）、荒井秀規（藤沢市）、伊藤剣（明治大学）、高橋周（出雲市）、山村桃子（島根県立大学）、中村太一（北海道教育大学）

（オブザーバー）佐藤雄一（駒澤大学）

(県職員出席者) 平石充・久保田一郎・吉松大志・橋本剛・野々村安浩

b. 島根県古代文化センター編『出雲国風土記 地図・写本編』刊行(2022年3月31日)

A4判、全648頁〈一般販売も実施〉

(風土記地図、地図索引、主要7写本の比較、特論『出雲国風土記』の交通路)〈中村太一〉など)

④ 出雲国風土記の総括的研究

a. 兵庫県との研究連携

ひょうご歴史研究室『播磨国風土記』研究班 令和3年度第1回研究会(2021年6月11日、オンライン会議)
(参加者) 平石充・吉松大志・野々村安浩・松尾充晶

ひょうご歴史研究室『播磨国風土記』研究班 令和3年度第2回研究会(2021年10月2日、オンライン会議)
(参加者) 平石充、吉松大志・野々村安浩・松尾充晶

ひょうご歴史研究室『播磨国風土記』研究班 令和3年度第3回研究会(2021年12月11日、オンライン会議)
(参加者) 吉松大志・野々村安浩・松尾充晶(報告「山陰における古墳時代の広域海上交通」)

(吉松・平石・久保田・橋本・野々村)

(3) 祭礼行事調査研究

島根県内の祭礼行事および民俗分野に関わる事象について、調査研究と記録作成を行い、その具体的内容と全体的性格を明らかにする。

① 民俗芸能等調査・記録作成

a. 「熊山三寶大荒神式年神楽」記録撮影・編集

「熊山三寶大荒神式年神楽」は、松江市東忌部町の熊山地区で33年に一度開催される式年神楽である。本来は2020年が神楽年だったが、新型コロナウイルスの感染拡大により1年延期となり、2021年5月15・16日に開催された。この式年神楽で上演される「大原神職神楽」(島根県指定無形民俗文化財)は、主に旧大原郡の神職を中心に構成される大原神職神楽保持者会が伝承している。大原神職神楽については、すでに1998年に模範演技の記録撮影、また2014年には熊山地区と隣合う大川端地区で開催された「大川端三寶大荒神式年神楽」の記録映像の作成を実施しているが、熊山地区の式年神楽については今回が初めての記録映像である。撮影は以下の日程で実施した。

2021年5月14日	準備風景、前夜祭
5月15~16日	当日準備風景、式年神楽本番
6月15日	熊山地区雑観、実行委員長・斎主インタビュー
6月17日	大原神職神楽保持者会長インタビュー

式年神楽当日の様子に加え、大川端の際には撮影されなかった式年神楽の準備風景などもあわせて撮影し、一部始終をほぼノーカットで収録した〈記録編〉全9巻と、式年神楽のダイジェストと関係者のインタビューによって構成した〈短編〉(約20分)を作成した(いずれもBDおよびDVD)。(石山・浅沼・藤原・面坪)

b. 盆踊り所在確認調査

2020年度から3ヶ年の予定で実施中の事業。21年度は調査票の送付先となる盆踊りの保存会や大会実行委員会、公民館などのリスト化を行い、今年度はそのリストを元に、調査票の送付と集計を行った。2022年1月末時点で、271件の回答があった。なお、今年度夏に予定していた現地調査は、各地の夏祭りや盆踊り大会が中止となったため、来年度実施予定。(浅沼・石山)

② 民俗資料収集調査

a. 民俗芸能関連用具類調査・撮影

県内の民俗芸能や祭礼行事に関連する用具類や資料の調査・写真撮影を行った。今年度実施したものは以下のとおり。

「熊山三寶大荒神式年神楽」奉納風景撮影(松江市東忌部町、石山・浅沼・藤原・面坪、2020年5月15~16日撮影)

薦沢神楽社中所蔵道具類撮影(雲南市大東町、石山・藤原、2021年11月14日撮影)

大土地神楽保存会神楽方および仮ノ宮区所蔵神楽道具類撮影

(出雲市大社町、石山・中安・藤原、2022年1月16日撮影)

b. 須我神社史料調査

2014年度から、基礎研究「中世・近世史料の多角的研究」と合同で同社の資料調査を実施し、主に目録作成を進めてきた。また、2018年度からはテーマ研究「出雲神楽の研究」の構成員も加わり、祭礼行事・芸能に関わる史料の詳細調査・撮影を平行して進めてきたが、史料目録が完成したため、今年度で事業は終了する。(石山・中安・浅沼・藤原・面坪)

c. 『石見国神社記』の翻刻

同書は明治初年に実施された石見全域の神社調査をもとに、藤井宗雄が各社の社伝や棟札からの情報も加えて1887年に完成させたものである。同書はこれまでに山藤忠氏が『郷土石見』誌上で現江津市・浜田市域部分を翻刻したり、『桜江町誌』や『川本町誌』などが当該町域部分を翻刻したりはしているが、全体としては未刊行のままである。

今年度は邑智郡(下)の前編を本書で報告する。(山崎)

d. 牛尾家所蔵史料調査・目録作成

2020年度から、牛尾家(江津市桜江町)所蔵の近世・近代の文書および牛尾三千夫氏(1907~1986年)収集資料の整理と目録作成を行っている。今年度、新たな史料が確認されたため、今年度以降もひきつづき目録作成を進める。(石山・浅沼・藤原・面坪)

③ 基礎調査

2020年度より「島根県域の祭礼行事と民俗芸能の変容」というテーマの元、1988年に実施された「島根県民俗芸能緊急調査」で報告された約250件と、未報告の約250件、計約500件の民俗芸能について、資料収集を実施している。現況調査について、来年度以降開始予定である。なお、①bの「盆踊り所在確認調査」は、この予備的調査として位置付け、実施している。(石山・浅沼)

④ 客員研究員共同検討会(令和4年3月3日(木) 於: 古代出雲歴史博物館)

令和3年度の事業報告および令和4年度の事業計画について協議・検討

(出席者)

客員研究員: 山路興造、笹原亮二、山崎亮、久保田裕道

県職員: 石山・中安・浅沼・面坪・品川・藤原

(4) 中世・近世史料の多角的研究

急速に史料が散逸しつつある現状を踏まえ、前年度に引き続き島根県の中世・近世の歴史を特徴づける、県内外の公的機関・個人が所有する古文書等の調査を行うとともに、情報発信に努めた。

① 客員研究員共同検討会

2021年12月6日 古代出雲歴史博物館

(議題) 今年度事業の実施状況の報告、次年度事業に係る検討等

(参加者) 客員研究員: 西田友広(東京大学史料編纂所)、小林准士(島根大学法文学部)

県職員: 目次、石山、中安、田村、岡、濱田、伊藤大、倉恒

② 史料調査・研究

2021年4月27日・6月3日・7月13日・8月5日・11月19日 須我神社(雲南市)文書の調査

2021年4月20日・5月25日・6月24日・7月19日・10月7日・11月4日・12月1日・12月16日・2022年1月6日・1月13日 宇津巻家(江津市)文書の調査(江津市教委と連携)

2021年11月8日~11日・12月6日~9日

北島家古記録の整理・撮影(古代出雲歴史博物館、東京大学史料編纂所と共同)

随時 古代出雲歴史博物館所蔵史料の整理・目録作成(大田/恒松家文書)

③ 中世史料集成

『萩藩閥閥録』目録作成、Web公開

『蔭涼軒日録』等の古記録記事抽出、リスト作成(継続中)

〔2〕テーマ研究

(1) 出雲神楽の研究

1) 目的

古代文化センターでは、これまでに「中国地方各地の神楽比較研究（島根県の神楽を軸に）」（平成18～21年度）、「石見神楽と地域創造」（平成22～24年度）という、県内の神楽を対象にした2本のテーマ研究を行ってきた。「出雲神楽の研究」はこれらのテーマ研究と基礎研究「祭礼行事調査研究」によって明らかにされた研究成果を踏まえ、これまで佐陀神能を中心として考えられてきた出雲地域の神楽について、各地域の神楽の歴史の変遷や祭礼との関係等から再検討し、出雲とその近隣地域の実態に即した「出雲神楽」の姿を明らかにするとともに、当該地域の神楽の特色を探ることを目的とする。

2) 活動概要

令和3年度は出雲市斐川町、同市大社町、雲南市木次町など未調査の地域を中心とする調査、5月に行われた33年目に1度の式年神楽である「熊山三寶大荒神式年神楽」（松江市東忌部町）の調査を実施し、あわせて神楽台本や関連資料の収集を行った。事業の最終年度にあたる今年度は、これまでの調査を踏まえ、出雲神楽の地域ごとの特色を把握することを目的として、神楽道具類や台本等の分析を進めた。

〔担当者〕石山祥子、中安恵一、浅沼政誌、面坪紀久、品川知彦、岡 宏三、藤原宏夫

〔客員研究員〕山路興造、中野洋平、錦織稔之

3) 客員共同検討会

第7回客員共同検討会（2021年10月9日 於：古代文化センター）

〔研究報告〕

山路興造「神事としての神楽と、芸能としての神楽」

錦織稔之「出雲大社延喜遷宮の祭儀 ―神門・出雲両郡の社家による清めの神楽を中心に―」

岡 宏三「神楽能「御崎」について」

第8回客員共同検討会（2022年2月19日 於：古代文化センター）

〔研究報告〕

浅沼政誌「唐川神楽所蔵衣装について」

面坪紀久「史料紹介 氏子神楽関係新出史料」

錦織稔之「宇那手火守神社社家 塩野家文書について」

4) 資料調査等

2021年4月27日・6月3日・7月13日・8月5日・11月19日 資料調査・撮影 於：須我神社（雲南市大東町）

2021年5月9日 「熊山三寶大荒神式年神楽祈願祭」見学 於：松江市東忌部町

2021年5月15日 熊山三寶大荒神式年神楽（～16日） 於：松江市東忌部町

2021年5月18日 資料調査・撮影 於：松江県立図書館（松江市）

2021年5月22日 坊床越し調査 於：出雲市唐川町～出雲市大社町修理免

2021年5月31日 資料・聞き取り調査 於：松江市東忌部町

2021年6月7日 資料・聞き取り調査 於：忌部神社（松江市東忌部町）

2021年7月4日 資料・聞き取り調査 於：氷室神楽保存会（出雲市斐川町）

2021年7月5日 資料・聞き取り調査 於：松江市東忌部町

2021年7月6日 資料調査・撮影 於：忌部神社（松江市東忌部町）

2021年8月2日 湯立神事見学 於：佐太神社（松江市鹿島町）

2021年8月19日 資料・聞き取り調査 於：矢尾神楽会（出雲市）

2021年8月20日 資料・聞き取り調査 於：出雲市平野町

2021年8月21日 「うなん篝火神楽」見学 於：古代鉄歌謡館（雲南市大東町）

2021年8月22日 莫莖替祭見学・撮影 於：須我神社（雲南市大東町）

2021年9月20日 資料・聞き取り調査 於：中野神楽保存会（出雲市中野町）

2021年9月23日 「熊山荒神祭」見学 於：松江市東忌部町

2021年9月26日 資料・聞き取り調査 於：薦沢神楽社中（雲南市大東町）

2021年9月27日 「鹿食の神事」見学 於：須我神社（雲南市大東町）

2021年9月29日 資料・聞き取り調査 於：土手町神楽保存会（出雲市斐川町）

2021年10月9日 櫓の屋神楽見学 於：古代鉄歌謡館（雲南市大東町）
 2021年10月23日 大土地神楽見学 於：大土地荒神社（出雲市大社町）
 2021年11月3日 唐川神楽見学 於：韓竈神社（出雲市）
 2021年11月3日 仏谷神楽見学 於：市森神社（出雲市）
 2021年11月7日 土手町神楽見学 於：熊野神社（出雲市斐川町）
 2021年11月10日 神楽道具類調査 於：旧日御碕小学校（出雲市大社町）
 2021年11月14日 神楽道具類調査・撮影 於：薦沢集会所（雲南市大東町）
 2021年11月28日 多根神楽見学 於：多根神楽伝承館（大田市三瓶町）
 2021年12月5日 「佐田町神楽共演大会」見学 於：スサノオホール（出雲市佐田町）
 2021年12月10日 資料調査・撮影 於：西日登交流センター（雲南市木次町）
 2021年12月12日 神楽道具類調査 於：お茶の里唐川館（出雲市）
 2021年12月16日 資料調査 於：法政大学能楽研究所（東京都千代田区）
 2021年12月23日 神楽道具調査 於：西日登交流センター（雲南市木次町）
 2022年1月16日 神楽道具調査・撮影 於：大土地神楽伝承館（出雲市大社町）

(2) 古代出雲と吉備の交流

1) 目的

考古学によって従来から指摘されていた、弥生時代から古墳時代にかけての出雲（山陰）と吉備の交流について、現段階での研究レベルに基づいて再評価を行う。また、両地域の関係について考古学、文献古代史、自然科学の分野から検討を行い、汎列島的な国家形成以前の地域間交渉と地域形成の関係性を明らかにする。

2) 活動概要

最終年度となる今年度は、鉄・鉄器などの手工業生産、山間部の横穴墓分布の背景と陰陽交流、王権による地方支配の構造、埋葬原理、出雲系・吉備系氏族伝承などの個別研究を行い、古墳時代終末期にかけての両地域の様相を把握するとともに、国家形成期における両地域の果たした役割について検討した。

胎土分析については、蛍光X線による測定条件を決定し、実試料の分析に着手した。

また、来年度に開催する古代の出雲と吉備に関する展示会の素案を作成した。

〔担当者〕勝部智明、久保田一郎、平石充、松尾充晶、岩本真実、原田敏照、是田 敦、澤田正明、池淵俊一、田原淳史、岩崎孝平、真木大空

〔客員研究員〕宇垣匡雅、會下和宏、大久保徹也

〔共同研究者〕今津勝紀、清家章、光本順

3) 検討会

第4回検討会（2021年8月17日（火） 於：埋蔵文化財調査センター）

松尾充晶「古墳時代の鉄生産からみた出雲と吉備」

大谷晃二「山間部地域の横穴墓」

大久保徹也「大形横穴式石室の築造動向-中四国及び畿内地域を素材として-」

清家 章「古墳時代後期～終末期における父系化と諸地域」

今津勝紀「キビ・イズモ・ヤマト」

参加者：客員研究員3名、共同研究者3名、ゲストスピーカー1名、職員12名、県内関係機関職員3名

(3) 近世近代の交通と地域社会経済

1) 目的

1. 近世近代の島根県域において展開した経済活動や人の移動について、交通史の視角から追究する。
2. ①輸送主体（船）や輸送拠点（港）に注目してその歴史的な意義や変遷過程について、②近代化において交通（廻船、汽船、鉄道）の果たした役割について、③人の移動の中でもとりわけ旅行史の観点から旅における社寺参詣や観光と交通の関わりについて、その具体像を明らかにする。

2) 活動概要

本年度は、新たに情報を得たものについて引き続き資料調査を行った。また客員研究会を2回開催し、個別の内容について議論を交わすとともに、研究事業全体の総括を行った。

〔担当者〕中安恵一、石山祥子、目次謙一、東森晋、田村亨、面坪紀久、熱田貴保、東山信治、矢野健太郎
〔客員研究員〕木部和昭、平山昇、下向井紀彦

3) 客員研究会

第5回客員研究員共同研究検討会（2021年9月16日 於：埋蔵文化財調査センター）

〔研究報告〕

角田徳幸「木次千歯の生産と流通」

中安恵一「史料紹介 隠岐汽船関係史料」

田村 亨「隠岐における歴史顕彰と観光・交通～1930年代の動向から～」

参加者 客員研究員3名、調査協力者2名（以上、リモート参加）、県職員10名

第6回客員研究員共同研究検討会（2022年3月20日～21日 於：埋蔵文化財調査センター）

〔研究報告〕

東山信治「松江城下町遺跡（白潟地区）の発掘調査について」

東森 晋「石見地方の窯場立地と交通の変遷」

熱田貴保・中安恵一「太田助太郎商店の紹介－瓦経営と視察旅行を中心に」

平山 昇「島根の新年参詣の近代史－初詣・節分・紀元節」

中安恵一「テーマ研究の総括」

〔巡見〕一畑薬師ほか

参加者 客員研究員3名、調査協力者2名、県職員10名

4) 資料調査等

2021年5月12日 旅日記史料調査（島根県立図書館）

2021年6月28日 千歯抜き資料調査（鳥取県倉吉歴史民俗資料館）

2021年7月20日 船絵馬調査（大田市宅野）

2021年8月17日 修学旅行関係史料調査（出雲市大社高）

2021年11月1日 自動車資料調査（福山自動車博物館）

2021年11月5日 近代廻船関係史料調査（出雲市）

2021年11月15日 奥原碧雲関係史料調査（松江市）

2022年1月14日 奥原碧雲関係史料調査（島根県立大学松江キャンパス図書館）

2022年1月28日 瓦窯跡踏査（大田市五十猛）

(4) 出雲と伊勢

1) 目的

出雲と伊勢は、ともに古代に起源をもつ杵築大社・伊勢神宮を有しており、国家形成史において重要な位置を占める地域として対比的に捉えられてきた。本研究では出雲と伊勢それぞれの地域社会の様相を分析し、その比較を通して、両地域の特質と日本列島の歴史に与えた影響を明らかにする。研究は中世以前を主な対象とするが、近現代に至るまで相互に影響を与えた両地域の関係性を多面的に明らかにすることを目的とする。

2) 活動概要

研究2年目となる今年度は、具体的な小テーマに踏み込んで出雲・伊勢両地域の対比的検討、分析をおこなった。具体的にはまず、国家的に重要視された地域神が形成される過程を研究するため、出雲と能登・筑紫の比較研究をおこない、さらにこうした地域が海上交通上の要地とされる点に着目し、広域交通と地域首長権の関係性、神格の形成に至る過程について分析を加えた。また、斎宮の成立についても県造との関わりから新たな視点が提示された。昨年度の研究で俎上に置いた安房地域では海産物生産が祭祀構成上で重要視されていたことから、伊勢に隣接する要地としての志摩に注目し、出雲における隠岐との関係や海産物の生産・貢納に関わる地域的特質についても分析をおこなった。

さらに、研究の対象時期を広げて、出雲と伊勢に関する総合的視点から研究を深めた。平安初期の朝廷の在

地統制や神職制度のあり方、神像の地域性にあらわれる傾向や特質、伊勢と出雲の門前町がいかになら形成されてきたか、といった多様な視点から、両地域の比較的分析を深めた。

〔担当者〕 松尾、吉松大、久保田、田村、品川、岡、濱田、橋本

〔客員研究員〕 藤森馨（国士舘大学）、榎村寛之（三重県立斎宮歴史博物館）、
穂積裕昌（三重県埋蔵文化財センター）、塩川哲朗（皇學館大学）

3) 客員研究員 共同検討会

・第3回検討会

2020年9月10日 於）島根県埋蔵文化財調査センター

松尾充晶「山陰の海上交通と地域首長」

中野知幸「気多神宮の成立・展開」

穂積裕昌「考古資料からみた古代志摩地域の特質」

榎村寛之「県造と伊勢大神・プレ斎宮」

・第4回検討会

2022年3月23日 於）島根県埋蔵文化財調査センター

久保田一郎「貢納物からみた出雲・隠岐」

橋本剛「平安初期の出雲と伊勢」

藤森馨「伊勢両宮構造の意義」

濱田恒志「出雲の仏像・神像にみる「地域性」の問題」

岡宏三「杵築門前町の構造」

4) 資料調査等

・伊勢方面資料調査 2021年7月28日～30日

志摩歴史民俗資料館、鳥羽市海の博物館、鈴鹿市考古博物館ほか

(5) 古代隠岐の形成と特質

1) 目的

古代隠岐国の形成過程を対象とするテーマ研究である。当該時期の隠岐を知る上で重要な遺跡について、調査が行われ資料が蓄積されてきた。このうち、資料化、公開が充分行われていなかった考古資料の整理を行い、一般の研究者が利用できる状態にする。また、考古資料から本土との交流関係、ルートなど具体像を検討する。

都城からは隠岐の海産物荷札木簡が多量に出土しており、そこに記載された地名・人名情報も活用しながら、7世紀後半～8世紀にかけての国家形成期に焦点を当て、地域社会形成過程の特色を探る（令和2～令和5年度）。

2) 活動概要

研究2年目となる令和3年度は2回の検討会を実施した。第3回では、これまで遺跡の情報が充分公開されていなかった竹田遺跡、大座1号墳、隠岐国分尼寺の出土遺物に関する整理・研究と、古墳・横穴から隠岐一本土間の交通関係の具体像を明らかにする調査研究を行った。研究報告では、鳥取県、大和を含む隠岐東方の諸地域との関係、とりわけ伯耆地方西部との交流が強く浮かび上がった。第4回では離島としての隠岐の特徴を明確にするため、九州から東日本まで各地域の研究者を招いて、古墳時代後期～律令時代の壱岐、対馬、佐渡地域との比較を行った。

〔担当者〕 久保田一郎、東森晋、平石充、岩本真実、岩橋孝典、神柱靖彦、吉松優希、勝部智明、是田敦、渡部麻生

〔客員研究員〕 大橋泰夫（島根大学）、花谷浩（出雲弥生の森博物館）、市大樹（大阪大学大学院）

3) 客員共同検討会

第3回客員共同検討会（2021年9月7日 於：埋蔵文化財調査センター）

〔研究報告〕

東森 晋 「竹田遺跡出土資料と弥生時代の交流」

吉松優希 「大座1号墳出土遺物について」

花谷浩・渡部麻生 「隠岐国分尼寺出土資料の調査」

内田律雄 「隠岐の古墳の概要」
勝部智明 「隠岐の横穴墓の形態と本土側の影響」

参加者：客員研究員 3 名、関係機関 6 名、県職員 12 名

第 4 回客員共同検討会（2022 年 3 月 13 日 於：埋蔵文化財調査センター）

市 大樹 「隠岐国荷札木簡とその周辺」
堀江 潔 「6 ～ 7 世紀の壱岐・対馬の古代豪族・海人と大和王権」
中林隆之 「古代の佐渡をめぐる諸問題」

参加者：客員研究員 3 名、関係機関 3 名、県職員 8 名

4) 資料調査等

2021 年 5 月 19 日 隠岐国分尼寺跡出土遺物・調査資料等の借用 於：隠岐郷土館
2021 年 5 月 25 日～27 日 隠岐国分尼寺出土資料調査 於：島根県埋蔵文化財調査センター
2021 年 6 月 24 日～26 日 隠岐国分尼寺出土資料調査 於：島根県埋蔵文化財調査センター
2021 年 7 月 28 日 尼寺原遺跡、月無遺跡、都万小学校校庭遺跡出土資料調査・大城遺跡出土遺物借用
於：隠岐の島町教育委員会
2021 年 8 月 3 日～ 6 日 隠岐国分尼寺出土資料調査 於：島根県埋蔵文化財調査センター
2021 年 10 月 25 日 隠岐国分尼寺跡出土遺物の返却 於：隠岐郷土館
2021 年 12 月 9 日 尼寺原遺跡出土資料調査 於：島根県埋蔵文化財調査センター
2021 年 12 月 9 日～10 日 隠岐国分尼寺出土資料調査 於：島根県埋蔵文化財調査センター

(6) 島根県域における弥生社会の総合的研究

1) 目的

島根県の弥生時代中期から後期の実像を明らかにし、大量の青銅器を保有・埋納した「出雲」の特質に焦点を当てる。①集落（住居群・区画溝・墳墓群・生産地・祭祀）の動態などから、首長制社会へ移行する社会的統一の過程を明らかにする。②朱・鉄・ガラスのような東アジア全体に及ぶ広域流通品のありかたや、漆・玉・石器・木器といった手工業品の生産・流通の様相を分析することにより、人・物・文化が動き合う地域間交渉の実態を明らかにする。

2) 活動概要

研究 1 年目の今年度は、検討会を 2 回実施した。第 1 回検討会では、集落、青銅器、墳墓、土器の研究状況を確認し、意見交換を行った。第 2 回検討会では、鉄および玉の生産と流通状況について確認し、意見交換を行った。また、出雲・隠岐の出土資料を調査したほか、弥生時代中・後期の遺跡集成と、西川津遺跡出土遺物の再整理作業を継続して実施した。

〔担当者〕 東森晋、松尾充晶、岩本真実、是田敦、増田浩太、深田浩、今福拓哉、鈴木七奈、上山晶子

〔客員研究員〕 吉田広、若林邦彦、會下和宏、寺前直人、平郡達哉

3) 客員共同検討会

第 1 回客員共同検討会（2021 年 9 月 30 日 於：埋蔵文化財調査センター）

東森 晋「島根県の弥生社会の研究状況」
若林邦彦「近畿を中心とした弥生～古墳時代集落論」
吉田 広「弥生青銅器をめぐる研究の現況」
今福拓哉「島根県の弥生墓制研究状況」
岩本真実「島根県における弥生土器研究の現状と課題」

参加者：客員研究員 5 名、県職員 13 名

第 2 回客員共同検討会（2022 年 3 月 8 日 於：埋蔵文化財調査センター）

松尾充晶「鉄器生産からみた画期と地域性」
會下和宏「弥生時代の西日本における鉄器の流通」
深田 浩「平所遺跡出土玉製品の再整理経過報告」
平郡達哉「弥生時代西日本の水晶製玉類副葬とその諸問題」

参加者：客員研究員 5 名、関係機関 4 名、県職員 12 名

4) 資料調査等

2021年 4月26日 松江市大庭小原遺跡、乃木西廻遺跡出土資料調査 於：松江市教育委員会

2021年 7月28日 尼寺原遺跡、月無遺跡、都万小学校校庭遺跡出土資料調査・大城遺跡出土遺物借用
於：隠岐の島町教育委員会

2021年12月14日 妻木晩田遺跡発掘調査見学 於：妻木晩田遺跡

2022年 2月 8日 古志本郷遺跡、青木遺跡、中野清水遺跡、北原本郷遺跡、山持遺跡出土資料調査
於：埋蔵文化財調査センター

通年：西川津遺跡海崎地区出土資料整理作業

(7) 中世山陰の戦争と地域社会

1) 目的

16世紀から17世紀初頭における山陰地域の戦争の様相と地域社会との関係について、各城館の特質と変遷、諸勢力の動向、地域の交通・流通、戦争経済など、様々な視角から追究する。

2) 活動概要

研究初年度である今年度は、2回の検討会を実施した。第1回検討会では、中世山陰地域の戦争について文献史の立場から概観し、特に重要な論点となる城館研究については、縄張り研究・考古・文献それぞれの観点から課題を抽出した。第2回検討会では、第1回検討会での議論を受けて、特に重要な研究フィールドとなる富田に注目し、報告・現地巡検を設定した。文献の立場からは富田とその周辺に関わる城館・戦争関係史料について整理し、考古の立場からは富田川河床遺跡の出土遺物に関する報告を行った。城館研究に関しては、年度末に実施した富田城周辺の陣城遺構に関する調査をもとに現地巡検を実施した。考古分野では、富田川河床遺跡の出土遺物整理作業を継続して実施した。

〔担当者〕田村亨、目次謙一、廣江耕史、守岡正司、伊藤大貴、倉恒康一

〔客員研究員〕中井均、山本浩樹、長谷川博史

3) 客員共同検討会

第1回客員共同検討会（2021年10月2日（土） 於：島根県職員会館）

田村 亨「戦国～織豊期における山陰地域の戦争について」

高屋茂男「山陰地域の城館調査研究の現状と課題」

目次謙一「島根県内中世城館史料における城館を指す語句の検討」

参加者：客員研究員 3 名、指導者 4 名、職員 8 名、県内・鳥取県関係機関職員 5 名

第2回客員共同検討会（2022年 3月 7日（月）・8日（火） 於：島根県埋蔵文化財調査センター、安来市広瀬町）

田村 亨「富田城周辺の城館・戦争をめぐる基礎的考察」

西尾克己「富田城下の寺院について」

参加者：客員研究員 3 名、指導者 4 名、職員 6 名、県内・鳥取県関係機関職員 3 名

4) 資料調査等

通年：富田川河床遺跡第6次調査出土資料整理作業

2022年 2月～3月 京羅木山城館現地調査（松江市東出雲町・安来市広瀬町）

〔3〕古代歴史文化に関する共同調査研究（14県連携：古代歴史文化協議会）

古代歴史文化にゆかりの深い県が互いに連携して、個々の地域的な研究だけでは見えにくかった日本の大きな古代史の流れを解明することを目的に、平成26年に古代歴史文化協議会を設立。以来、共同で調査研究をおこない、その成果を活かしてシンポジウムや展覧会などを開催し、全国に向けて情報発信を行っている。島根県知事が協議会会長をつとめており、島根県古代文化センターは協議会事務局として活動の総務を担当する。平成26～30年度は研究テーマを「古墳時代の玉類」とし、平成30年度には成果図書の刊行、展覧会の開催などをおこなった。令和元年度からはあらたに「古墳時代の刀剣類」をテーマとして、第2期の共同調査研究を進めている。今年度の活動内容は以下のとおり。

① 研究集会

- ・第13回研究集会（2021年7月6日～7月8日、出雲市内）

昨年度、島根県が開催を担当する計画であったが、コロナ感染拡大により中止。あらためて今年度開催することとし、準備、当日運営等を当センター職員が担当した。14県中6県は県外への移動制限があったためリモート参加となり、対面とのハイブリッド形式で実施した。内容は基調講演（講師 当センター客員研究員 大谷晃二氏）、成果図書の内容に関する各県報告、事業計画についての協議。2日目閉会後は出雲市内の古墳と荒神谷博物館視察、3日目は出雲弥生の森博物館・古代出雲歴史博物館で出土刀剣資料の実見調査会をおこなった。

- ・第14回研究集会（2022年1月18日～19日、佐賀市 ※リモート参加）

当センターから6名が参加を予定していたが、島根県内でのコロナ感染拡大によりリモート参加となった。内容は基調講演（講師 奈良大学 豊島直博氏）、成果図書の原稿検討、展覧会等事業計画についての協議。

② 担当者Web会議

必要に応じてWeb会議による協議、意見交換をおこなった。

- ・第4回担当者Web会議（2021年5月19日）展覧会計画の案、成果図書執筆方法の説明・協議など
- ・第5回担当者Web会議（2021年8月19日）成果図書構成の修正事項報告、展覧会計画の検討など
- ・第6回担当者Web会議（2021年11月29日）展覧会会場の環境状況に関する協議など
- ・第7回担当者Web会議（2022年3月15日）成果図書の修正原稿確認、展覧会開催計画の協議など

③ 中間研究発表会

研究の中間成果を公開する機会として「第5回古代歴史文化講演会」を東京都内で開催する計画であったが、感染症拡大のため計画を変更。岡山県立美術館（岡山市）を会場に無観客で収録し（2021年12月15日）、当センターが動画編集、ネット上の動画サイトへアップロードを担当した。タイトル『刀剣が語る 古墳時代の幕開け』、基調講演 石川日出志氏（明治大学）。

2月下旬より14県が協力して動画を広報し、視聴の呼びかけをおこなっている。

④ 展覧会開催準備

令和4年度10～12月、研究成果を一般向けに広く公開する機会として展覧会の開催を計画。展示構成の検討、資料調査といった準備を14県で分担して進めた。また、開催館となる大阪歴史博物館と様々な協議、調整をおこなった。

⑤ 成果図書

共同調査研究の成果をわかりやすくビジュアルにまとめた書籍を令和4年度に刊行予定。今年度は14県の担当者が分担して原稿執筆をおこなった。A5版フルカラー、240ページ程度を想定しており、このうち本県は33ページを担当した。

（角田・平石・東森・松尾・岩井・吉松優）

■古代文化情報発信事業

〔1〕各種講座・シンポジウム

1. 島根の歴史文化講座＋オンライン（会場での講座＋オンライン配信）

テーマ「戦いの歴史と島根」

第1講「西日本の戦国争乱」 長谷川博史（島根大学教育学部 教授）

オンライン配信期間9/19～10/3（会場での開催は中止） オンライン申し込み764人 推定視聴者数697人
視聴回数1520回

第2講「弥生時代の戦いと島根（松江市田和山遺跡史跡指定20周年記念）」（松江市共催）

松木武彦（国立歴史民俗博物館・総合研究大学院大学 教授）

日時 10月12日（日）13：00～15：00（オンライン配信期間9/19～10/3） 会場 松江テルサ（松江市）

参加者 会場203人 オンライン申し込み800人 推定視聴者数699人 視聴回数1481回

第3講「南北朝内乱と出雲国」 伊藤大貴（島根県立古代出雲歴史博物館 主任学芸員）

日時 11月28日（日）13：00～15：00（オンライン配信期間12/5～12/19） 会場 松江テルサ（松江市）

参加者 会場149人 オンライン申し込み677人 推定視聴者数543人 視聴回数1114回

第4講「幕末・維新期の島根と「戦場」」 岸本覚（鳥取大学地域学部 教授）

日 時 12月12日（日）13：00～15：00 （オンライン配信期間12/19～1/2） 会場 松江テルサ（松江市）

参加者 会場170人 オンライン申し込み586人 推定視聴者数390人 視聴回数799回

2. 隠岐国巡回講座（オンライン配信）

「隠岐の牛突き」（60分）

岩崎ことい（隠岐の島町教育委員会）

動画公開期間：8月30日（月）～10月3日（日）

オンライン申し込み275人 推定視聴者数302人 視聴回数612回

3. 石見国巡回講座（オンライン配信）

シンポジウム「歴史を動かした石見の武将たち—吉見氏と益田氏—」

動画公開期間：10月20日（水）～11月21日（日）

報告「津和野地域の土器に見る山口地域の影響」約25分 廣江耕史

報告「石見地域西部における中世土器・陶磁器の特質」約25分 鈴木康之（県立広島大学 教授）

報告「文書戦略と領有権争い—美濃地・黒谷をめぐる益田・吉見間の攻防」約25分

久留島典子（神奈川大学 教授）

報告「大内氏の石見支配と吉見氏」約25分 川岡 勉（愛媛大学 教授）

報告「毛利氏と吉見氏」約25分 本多博之（広島大学大学院 教授）

パネルディスカッション（鈴木康之・久留島典子・川岡勉・本多博之・廣江耕史、司会：目次謙一） 約50分

オンライン申し込み409人 推定視聴者数371人 視聴回数1045回

4. 古代出雲文化シンポジウム（オンライン配信・ケーブルテレビ放映）

「神話と伝承から読み解く出雲世界」

基調講演「神話と伝承から読み解く出雲世界」約40分 三浦佑之（千葉大学名誉教授）

報告1「埴輪が語る出雲と王権」約22分 高橋克壽（花園大学教授）

報告2「ホムチワケ伝承と出雲と葛城」約22分 古市晃（神戸大学教授）

パネルディスカッション「古墳と伝承から古代出雲の真相に迫る！」約76分

パネラー：高橋克壽・古市晃・勝部智明（県古代出雲歴史博物専門学芸員）司会：森田喜久男（淑徳大学教授）

オンライン配信・県内ケーブルテレビ放映 2022年3月

〔2〕WEB情報発信 古代文化センターホームページのリニューアル（<https://shimane-kodaibunka.jp/>）

現行のホームページは構成がわかりにくく、新しいコンテンツが更新されていなかったことから、外部サーバに新しくホームページを構築し、魅力的なコンテンツを定期的に更新していくためのリニューアルをおこなった。3月より公開を開始している。新ホームページでは講座・シンポジウムの動画が視聴できるほか、刊行物情報・各種データベース・読み物などを公開している。

また今後、定期的に更新していくコンテンツとして以下がある。

- ① 連載コラム「いまどき島根の歴史」 島根県の歴史文化に関するトピックを取りあげた1000文字程度の読み物

今年度末の時点で、計23本のコラムを掲載した。

- ② ブログ「研究員の日記」 日常の調査研究での出来事や、こぼれ話などに関する日記風の読み物

今年度末の時点で、計7件の投稿をおこなった。

- ③ 動画「しまこだチャンネル」 ストーリー性のある5～10分間程度の動画で、インターネット上の動画サイトで公開

今年度末の時点で、「まぼろしの映像記録 和鋼製作技術」「姫神に恋したワニ 鬼の舌震と風土記」「江の川発掘最前線 森原下ノ原遺跡の調査」「唐川神楽の道具調査レポート」「山城を歩く～月山富田城と陣城」「古文書調査現場に突入」の計6本を公開した。

〔3〕第8回古代歴史文化賞ならびに記念行事

令和4年度に延期。

■その他の情報発信

山陰中央新報への記事提供

「いまどき、島根の歴史」（日曜日文化欄に連載）

2021年4月11日（第170号）～2022年3月27日（第214号）掲載。現在継続中。

執筆者：角田・平石・久保田・目次・東森・松尾・石山・中安・吉松・浅沼・田村・廣江・野々村・岩本・面坪、品川・勝部・是田

■刊行物

①『古代文化研究』第30号 2022年3月刊 A4版

②『しまねの古代文化』第29号 2022年3月刊 A5版

・テーマ研究調査報告書

③第27集『山陰における古代交通の研究』 2022年3月刊行 A4版

④第28集『中世石見における在地領主の動向』 2022年3月刊行 A4版

・調査研究報告書

⑤第56集『荒神谷遺跡青銅器群の研究』 2022年3月刊行 A4版

・30周年記念刊行物

⑥『出雲国風土記 地図・写本編』 2022年3月刊行 A4版

古代文化センター職員の研究・普及活動

角田 徳幸（考古学）

1. 論文・寄稿・映像資料等

- ① いまどき島根の歴史190「石見銀山代官が発掘―大田の明神古墳―」『山陰中央新報』 2021年9月12日
- ② いまどき島根の歴史204「大念寺古墳の発見―詳細な江戸時代の記録―」『山陰中央新報』 2021年12月26日
- ③ 「田儀櫻井家のたたら経営と越堂鉦」『史跡田儀櫻井家たたら製鉄遺跡調査整備報告書Ⅱ 越堂たたら跡―発掘調査と文献調査・文書目録―』出雲市の文化財報告50 出雲市教育委員会 2022年3月
- ④ 「菅谷鉦の製鉄用具1」『菅谷たたら山内総合文化調査報告書』3 鉄の歴史村地域振興事業団 2022年3月
- ⑤ 「家島家文書にみる市原鉦」『市原鉦跡発掘調査報告書』 安来市教育委員会 2022年3月
- ⑥ 共著「宇波鋳物師関連資料の調査」『古代文化研究』第30号 島根県古代文化センター 2022年3月

2. 研究報告等

- ① テーマ研究 近世近代の交通と地域社会経済 第5回検討会「木次千歯の生産と流通」 2021年9月16日

3. 学会発表・講演等

- ① 第1回ヘリテージツーリズムマネージャー養成講座「木次の鍛冶屋と千歯製造」雲南市たたらプロジェクト会議 雲南市八日市交流センター 2021年7月27日
- ② 島根県銑鉄鋳物工業組合鋳造技術者初級研修「たたら製鉄と山陰の鋳物師」テクノアークしまね 2021年10月16日
- ③ 松江市民大学ふるさと探求コース「中世鉄生産の発展と生産地形成」松江市市民活動センター 2021年11月2日
- ④ 出雲市文化財調査協力員研修会「千歯の見方と田儀の千歯生産」出雲弥生の森博物館 2021年11月5日
- ⑤ 中国地方たたら懇話会「角炉の開発とその展開」絲原記念館 2021年11月20日
- ⑥ 江府町文化協会・伯耆国たたら顕彰会 下原重伸「恭敬」ツアー&フォーラム「鉄山秘書と下原重伸」江府町役場 2021年11月21日
- ⑦ 飯南ラボフォーラム「飯南町のたたら製鉄」来島交流センター 2022年3月13日

5. 外部委員・講師等

- ① たたら研究会全国委員 2008年10月～
- ② 田儀櫻井家たたら製鉄遺跡整備検討委員会委員 2010年4月～
- ③ 重要有形民俗文化財「菅谷たたら山内」保存整備検討委員会委員 2011年4月～
- ④ 奥出雲町文化的景観調査検討委員会委員 2011年4月～
- ⑤ 斐伊川水系河川整備アドバイザー会議委員 2015年11月～
- ⑥ 出雲市文化財保護審議会委員 2019年10月～
- ⑦ たたら文化伝道師認定制度策定委員会委員 2020年7月～
- ⑧ 島根大学嘱託講師

平石 充（古代史）

1. 論文・寄稿・映像資料等

- ① 「「大田」地名から古代の開発を考える」『播磨国風土記』の古代史』兵庫県立歴史博物館ひょうご歴史研究室・編 神戸新聞出版 2021年11月
- ② 「『出雲国風土記』の道路記載」『山陰における古代交通の研究』 島根県教育委員会 2022年3月
- ③ （共著）島根県古代文化センター編『出雲国風土記 地図・写本編』 島根県教育委員会 2022年3月
- ④ いまどき島根の歴史178「古代人とサメ」『山陰中央新報』 2021年6月6日
- ⑤ いまどき島根の歴史192「神在月の起源」『山陰中央新報』 2021年10月3日
- ⑥ いまどき島根の歴史206「加賀神埼の伝承」『山陰中央新報』 2022年1月23日

2. 研究報告等

- ① まつえ市民大学「カンナビ山に籠る神」 スティックビル 2021年6月22日
- ② 莊原リレー講座『『出雲国風土記』からみた古代の斐川』 出雲市莊原コミュニティセンター 2021年11月27日
- 3. 学会発表・講演等
 - ① 古代出雲歴史博物館企画展「出雲と都を結ぶ道ー古代山陰道ー」 2022年3月～2022年5月
- 5. 外部委員・講師等
 - ① 出雲市出雲国山陰道跡保存活用計画策定委員会委員 2021年10月～2022年3月
 - ② 島根大学ジオパーク学各論『『出雲国風土記』とジオパーク』 2021年12月13日

久保田 一郎（考古学）

- 1. 論文・寄稿・映像資料等
 - ① いまどき島根の歴史172「蝦夷「征伐」ー出雲に捕虜強制移住」『山陰中央新報』 2021年4月18日
 - ② いまどき島根の歴史186「緊張の最前線に立つ「辺要」隠岐」『山陰中央新報』 2021年8月15日
 - ③ いまどき島根の歴史201「国際派官人の受難ー隠岐守越智貞原」『山陰中央新報』 2021年12月5日
 - ④ いまどき島根の歴史212「峠と祈りの変遷」『山陰中央新報』 2022年3月6日
 - ⑤ 文化財ニュース「隠岐の島町甲ノ原遺跡の出土遺物」『季刊文化財』154 2022年3月
- 2. 研究報告等
 - ① テーマ研究 出雲と伊勢 第4回検討会「貢納物からみた出雲と隠岐」 2022年3月23日
- 3. 学会発表・講演等
 - ① 荒神谷博物館定例講演会「道路の移り変わりをたどってー古道に学ぶ先人の知恵」 2021年5月15日 出雲市立荒神谷博物館
 - ② 心に残る文化財子ども塾「勾玉作り体験と地域の歴史」 雲南市立大東小学校 2021年7月7日

目次 謙一（中世史）

- 1. 論文・寄稿・映像資料等
 - ① いまどき島根の歴史173「名刀と外交」『山陰中央新報』 2021年4月25日
 - ② いまどき島根の歴史187「浜田の鮎を贈る」『山陰中央新報』 2021年8月22日
 - ③ いまどき島根の歴史200「もてなしの料理彩る美物」『山陰中央新報』 2021年11月28日
 - ④ いまどき島根の歴史214「海を渡る石見の材木と高津川の湊」『山陰中央新報』 2022年3月27日
 - ⑤ 「石見の領主と戦国大名～益田氏らと毛利氏～」『しまねの古代文化』29 2022年3月
 - ⑥ 共著「石見三宮岡本文書目録」『古代文化研究』第30号 島根県古代文化センター 2022年3月
 - ⑦ 共著「宇波鋳物師関連資料の調査」『古代文化研究』第30号 島根県古代文化センター 2022年3月
 - ⑧ 「石見吉見氏の一族について」『中世石見における在地領主の動向』島根県古代文化センター研究論集第28集 島根県古代文化センター 2022年3月
 - ⑨ 共著「山口県周南市大向門前出土の陶磁器ー16世紀中葉の埋納陶磁器群の報告ー」『中世石見における在地領主の動向』島根県古代文化センター研究論集第28集 島根県古代文化センター 2022年3月
 - ⑩ 「石見西部地域出土中世銭貨一覧」『中世石見における在地領主の動向』島根県古代文化センター研究論集第28集 島根県古代文化センター 2022年3月
 - ⑪ 共著「益田氏・吉見氏関連歴史資料一覧表」『中世石見における在地領主の動向』島根県古代文化センター研究論集第28集 島根県古代文化センター 2022年3月
- 2. 研究報告等
 - ① テーマ研究 中世山陰における戦争と地域社会 第1回検討会「島根県内中世城館史料における城館を指す語句の検討」 2021年10月2日
- 3. 学会発表・講演等
 - ① 心に残る文化財子ども塾「学校周辺の遺跡と奈良の大仏」 浜田市立松原小学校 2021年6月22日
 - ② 大田の歴史講座「仁摩町宅野の自然と歴史」事前学習会講師 大田市仁摩公民館 2021年10月14日

- ③ 石見講座シンポジウム「歴史を動かした石見の武将たちー吉見氏と益田氏」 コーディネーター（オンライン） 2021年10月20日～11月21日

東森 晋（考古学）

1. 論文・寄稿・映像資料等

- ① いまどき島根の歴史185「中世の城郭」『山陰中央新報』 2021年 8 月 8 日
② いまどき島根の歴史199「出土する中世甲冑」『山陰中央新報』 2021年11月21日
③ いまどき島根の歴史211「発掘された戦国時代の建物」『山陰中央新報』 2022年 2 月27日
④ 「米子市法勝寺川流域採集土器について」『島根考古学会誌』第39集 島根考古学会 2022年

2. 研究報告等

- ① テーマ研究 古代隠岐の形成と特質 第3回検討会 報告「竹田遺跡資料と弥生時代の交流」 2021年 9 月 7 日
② テーマ研究 島根県域における弥生社会の総合的研究 第1回検討会 報告「島根県の弥生社会研究状況」 2021年 9 月30日
③ テーマ研究 近世近代の交通と地域社会経済 第6回検討会 報告「石見地方の窯場立地と交通の変遷」 2022年 3 月20日

3. 学会発表・講演等

- ① 心に残る文化財子ども塾「古代の人々の生活にふれよう」 大田市立志学小学校 2021年 7 月14日
② 島根の歴史文化講座＋オンライン 戦いの歴史と島根第2講 鼎談「田和山遺跡と島根の弥生時代」登壇者 松江テルサ 2021年10月10日
③ シマネスクくにびき学園講義「弥生時代の隠岐」 くにびき学園東部校 2021年11月26日

松尾 充晶（考古学）

1. 論文・寄稿・映像資料等

- ① いまどき島根の歴史182「大田」地名の由来」『山陰中央新報』 2021年 7 月11日
② いまどき島根の歴史193「神在月の由来」『山陰中央新報』 2021年10月10日
③ いまどき島根の歴史208「邪霊を追いやる鬼の顔」『山陰中央新報』 2022年 2 月 6 日
④ 「倭と韓半島をつなぐ「海の道」ー日本海側の短甲副葬古墳の検討からー」『技と慧眼ー塚本敏夫さん還暦記念論集ー』 塚本敏夫さん還暦記念論集事務局 2021年11月
⑤ 「島根県大田市立花横穴墓出土の頭椎大刀に関する考察」『古代文化研究』第30号、島根県古代文化センター 2022年 3 月
⑥ 「宇波鋳物師関連資料の調査」（共著）『古代文化研究』第30号、島根県古代文化センター 2022年 3 月

2. 研究報告等

- ① テーマ研究 古代出雲と吉備の交流 第4回検討会「古墳時代の鉄生産からみた出雲と吉備」 2021年 8 月17 日
② テーマ研究 出雲と伊勢 第3回検討会「山陰の海上交通と地域神」 2021年 9 月13日
③ テーマ研究 島根県域における弥生社会の総合的研究 第1回検討会「鉄器生産からみた弥生社会の画期」 2022年 3 月 8 日

3. 学会発表・講演等

- ① まつえ市民大学ふるさと発見コース 「神話と遺跡からみた古代出雲の神まつり」 2021年 5 月28日
② ひょうご歴史研究室『播磨国風土記』研究班第3回研究会「山陰における古墳時代の広域海上交通」 2021年12月11日

6. 調査指導・職員派遣等

- ① 国宝藤ノ木古墳出土刀子検討会 奈良県立橿原考古学研究所 2021年12月14日
② 環日本海文化交流史調査研究集会・共同研究者会議 石川県埋蔵文化財センター 2022年 2 月24～25日

石山 祥子（民俗学）

1. 論文・寄稿・映像資料等

- ① いまどき島根の歴史170「各地に残る「褒め詞」」『山陰中央新報』 2021年4月4日
- ② いまどき島根の歴史184「今春開催された松江の荒神神楽」『山陰中央新報』 2021年8月1日
- ③ いまどき島根の歴史194「留守を守る神」『山陰中央新報』 2021年10月17日
- ④ いまどき島根の歴史207「生理をめぐる風習」『山陰中央新報』 2022年1月30日
- ⑤ 「佐陀神能の大蛇面」『山陰中央新報』 2021年11月24日
- ⑥ 「出雲地方の「悪切」神事」公益財団法人いづも財団・出雲大社御遷宮奉賛会編『いづも財団叢書8 島根の祭りと民俗芸能』今井出版 2021年10月
- ⑦ 「佐陀神能の面と衣装について」『湖都松江』43号 松江市文化協会 2022年3月
- ⑧ 『熊山三寶大荒神式年神楽』記録編・短編 島根県古代文化センター 2022年3月

3. 学会発表・講演等

- ① 高浜コミュニティセンター自主企画事業『神楽伝承講座』講師「出雲神楽の起源と変遷 ―高浜地区の神楽―」高浜コミュニティセンター 2021年8月29日
- ② かしまの歴史・文化を学ぶ会令和3年度第3回講座講師「出雲地方の神楽における佐陀神能の特色」鹿島ふれあい館 2021年10月2日
- ③ 中国地区理容美容学校協議会研修会講師「近代の石見神楽と提灯式蛇胴の誕生」浜田ワシントンホテル 2021年10月17日
- ④ 第16回無形民俗文化財研究協議会報告「コロナ禍における記録作成事業 ―島根県での取り組みから―」東京文化財研究所 2021年12月17日

5. 外部委員・講師等

- ① 島根大学非常勤講師 2021年4月～2021年9月
- ② 松江市文化財保存活用地域計画協議会構成員 2021年4月～2022年3月
- ③ 松江市文化財保護審議会委員 2021年9月～

中安 恵一（近世史）

1. 論文・寄稿・映像資料等

- ① いまどき島根の歴史181「江戸時代の村の休日」『山陰中央新報』 2021年6月27日
- ② いまどき島根の歴史191「北海道移住と山陰移住会社」『山陰中央新報』 2021年9月26日
- ③ いまどき島根の歴史210「明治19年のコレラと隔離住生活」『山陰中央新報』 2022年2月20日

2. 研究報告等

- ① テーマ研究 近世近代の交通と地域社会経済 第5回検討会「史料紹介 隠岐汽船関係史料」 2021年9月16日
- ② テーマ研究 近世近代の交通と地域社会経済 第6回検討会「太田助太郎商店の紹介」 2022年3月20日
- ③ テーマ研究 近世近代の交通と地域社会経済 第6回検討会「テーマ研究の総括」 2022年3月20日

3. 学会発表・講演等

- ① 心に残る文化財こども塾「勾玉作り体験と地域の歴史」雲南市立大東小学校 2021年7月7日

5. 外部委員・講師等

- ① 科学研究費「近世の流域史と鉄・砂鉄・森林に関する歴史学的研究」研究協力者（代表：東京農工大学・高橋美貴、2020年4月～2023年3月）

吉松 大志（古代史）

1. 論文・寄稿・映像資料等

- ① 「五・六世紀の中央権力と地域編成をどう考えるか 書評 古市晃『国家形成期の王宮と地域社会―記紀・風土記の再解釈―』」『市大日本史』大阪市立大学日本史学会 2021年5月
- ② いまどき島根の歴史183「島根に2度流された男、伴中庸」『山陰中央新報』 2021年7月18日

- ③ 「今津勝紀氏の古代家族研究の成果とこれからの地域社会論に向けて」『歴史科学』第247号 2021年10月
 - ④ いまどき島根の歴史198「隠岐のスサノオ」『山陰中央新報』 2021年11月14日
 - ⑤ いまどき島根の歴史209「明治の地図に古代を求めて」『山陰中央新報』 2022年2月13日
 - ⑥ 「史料散歩 写本が拓く『出雲国風土記』研究の新視点」『日本歴史』第885号 2022年2月
 - ⑦ 「書評 虎尾達哉著『律令政治と官人社会』」『史学雑誌』第131編3号 2022年3月
 - ⑧ (共著)「浜田市 苅立横穴出土資料について—金属器編—」『古代文化研究』第30号 2022年3月
 - ⑨ (共著)「資料調査 出雲国風土記写本の調査(十八)」『古代文化研究』第30号 2022年3月
 - ⑩ 令和2年度隠岐国巡回講座「こうして「知夫」が生まれた ～古代の智夫郡に生きた人々～」島根県古代文化センター編『しまねの古代文化』第29号 島根県教育委員会 2022年3月
 - ⑪ 「『出雲国計会帳』節度使符にみる出雲—石見間交通」島根県古代文化センター研究論集第27集『山陰における古代交通の研究』島根県教育委員会 2022年3月
 - ⑫ (共著)島根県古代文化センター編『出雲国風土記 地図・写本編』島根県教育委員会 2022年3月
3. 学会発表・講演等
- ① 「いにしへの荘原に坐す神と社」リレー講座「私たちの荘原」のルーツをたどる」 荘原コミュニティーセンター 2021年12月18日
 - ② 「文献史料が語る国府と政庁のすがた」島根県埋蔵文化財調査センター講演会「史跡指定50周年 ここまでわかった出雲国府！」 松江市市民活動センター(動画配信のみ)

浅沼 政誌(民俗学)

- 1. 論文・寄稿・映像資料等
 - ① いまどき島根の歴史「変わりゆく葬祭」『山陰中央新報』 2021年5月23日
 - ② いまどき島根の歴史「隠岐の牛突き」『山陰中央新報』 2021年9月5日
 - ③ いまどき島根の歴史「お忌みさんの伝承」『山陰中央新報』 2021年10月24日
 - ④ 書評『石見銀山学ことはじめV火』 山陰中央新報 2021年6月26日
- 2. 研究報告等
 - ① テーマ研究 出雲神楽の研究 第8回検討会「唐川神楽所蔵衣装について」 2022年2月19日
- 3. 学会発表・講演等
 - ① 和鋼博物館講座「民俗学からみた たたら」 和鋼博物館 2021年6月19日
- 4. 展示活動
 - ① 特別展「子ども／おもちゃの博覧会」(副担当)島根県立古代出雲歴史博物館 2021年7月2日～8月22日
- 5. 外部委員・講師等
 - ① 出雲市文化財保護審議会委員
 - ② 雲南市文化財保護審議会委員
 - ③ 公益財団法人いづも財団助成事業助成金交付選定委員
 - ④ 公益財団法人エネルギー文化・スポーツ財団助成・顕彰選考委員
 - ⑤ 山中のお改め神事・シシ狩り行事調査委員会委員(江津市)

田村 亨(中世史)

- 1. 論文・寄稿・映像資料等
 - ① いまどき島根の歴史179「承久の乱」『山陰中央新報』 2021年6月13日
 - ② いまどき島根の歴史188「戦国山陰の軍需物資調達」『山陰中央新報』 2021年8月29日
 - ③ いまどき島根の歴史206「佐々木一族の躍進」『山陰中央新報』 2022年1月9日
- 2. 研究報告等
 - ① テーマ研究 近世近代の交通と地域社会経済 第5回検討会「隠岐における歴史顕彰と観光・交通～1930年代の動向から～」 2021年9月16日
 - ② テーマ研究 中世山陰の戦争と地域社会 第1回検討会「戦国～織豊期における山陰地域の戦争について」

2021年10月2日

- ③ テーマ研究 中世山陰の戦争と地域社会 第2回検討会「富田城周辺の城館・戦争をめぐる基礎的考察」

2022年3月7日

3. 学会発表・講演等

- ① 島根の歴史文化講座+オンライン 戦いの歴史と島根第3講「南北朝内乱と出雲国」対談コーナー 登壇者
松江テルサ 2021年11月28日

野々村 安浩（古代史）

1. 論文・寄稿・映像資料等

- ① いまどき島根の歴史180 「石山寺に赴いた出雲人」『山陰中央新報』 2021年6月20日
② 「在南道の校訂と研究」『山陰における古代交通の研究』島根県古代文化センター調査研究論集第27集 島根県古代文化センター 2022年3月
③ 共著「調査報告 風土記写本調査（十八）」『古代文化研究』第30号 2020年3月
④ （共著）島根県古代文化センター編『出雲国風土記 地図・写本編』 島根県教育委員会 2022年3月

3. 学会発表・講演等

- ① 心に残る文化財子ども塾「勾玉作り体験と地域の歴史」 雲南市立大東小学校 2021年7月7日

廣江 耕史（考古学）

1. 論文・寄稿・映像資料等

- ① いまどき島根の歴史2「縄文時代の人々と隠岐産黒曜石」『山陰中央新報』 2021年5月16日
② いまどき島根の歴史2「日本海を介して運ばれた焼き物」『山陰中央新報』 2021年12月19日
③ 「津和野地域の中世土器」『中世石見における在地領主の動向』島根県古代文化センター調査研究論集第28集 島根県古代文化センター 2022年3月

3. 学会発表・講演等

- ① 心に残る文化財子ども塾「古代の人々の生活にふれよう」 大田市立志学小学校 2021年7月14日
② 石見講座シンポジウム「歴史を動かした石見の武将たち—吉見氏と益田氏」（オンライン） 2021年10月20日～11月21日
③ 「陶磁器の流通と港湾施設の観点から」『古代中世移行期の交通と祭祀』第21回古代交通研究会 2021年6月27日

岩本 真実（考古学）

1. 論文・寄稿・映像資料等

- ① いまどき島根の歴史174「島根に弥生文化を伝えた人々」『山陰中央新報』 2021年5月2日
② いまどき島根の歴史197「お米と弥生人の心」『山陰中央新報』 2021年11月7日
③ 「大井窯跡群における須恵器生産の盛衰と画期」『島根考古学会誌』第39集 2022年3月

2. 研究報告等

- ① テーマ研究 島根県域における弥生社会の総合的研究 第1回検討会「島根県における弥生土器研究の現状と課題」 2021年9月30日

3. 学会発表・講演等

- ① 心に残る文化財子ども塾「奈良の大仏と古代の島根町について」 松江市立島根小学校 2021年9月2日
② まっえ市民大学講座「出雲の須恵器からみえること」 市民活動センター 2021年11月30日

面坪 紀久（近世史）

1. 論文・寄稿・映像資料等

- ① いまどき島根の歴史175「信風と花叔」『山陰中央新報』 2021年5月9日
② いまどき島根の歴史202「戦前の駆け足修学旅行」『山陰中央新報』 2021年12月12日

2. 研究報告等

- ① テーマ研究 出雲神楽の研究 第8回検討会「史料紹介 氏子神楽関係新出史料」 2022年2月19日

3. 学会発表・講演等

- ① 心に残る文化財子ども塾「古墳時代～奈良時代の斐伊小周辺と古代遺跡について」雲南市立斐伊小学校 2021年7月15日
- ② 島根史学会「近世後期における社家組織の変容について～神事祭礼をめぐる杵築支配下六郡半の動向から～」労働会館 2021年12月4日

品川 知彦（宗教社会学）

1. 論文・寄稿・映像資料等

- ① 「お田植え神事」『出雲の祭りと民俗芸能』 今井出版 2021年10月
- ② いまどき島根の歴史196「映画の中に見る神集い伝承」『山陰中央新報』 2021年10月31日

3. 学会発表・講演等

- ① 日博協中国支部研修会「古代出雲歴史博物館でのコロナ下における取組」（オンライン） 2021年11月25日
- ② 「世界からみた出雲神話の世界」フォーラム パネリスト 島根県民会館 2021年3月12日

4. 展示活動

- ① 特別展「子ども／おもちゃの博覧会」（副担当） 島根県立古代出雲歴史博物館 2021年7月2日～8月22日

5. 外部委員・講師等

- ① 島根県立大学短期大学部非常勤講師 2020年4月～2018年9月
- ② 島根県立大学人間文化学部非常勤講師 2020年10月～2021年3月
- ③ 島根大学嘱託講師 2020年4月～2020年9月
- ④ 文化庁文化財第一課調査員 2020年5月～2021年3月
- ⑤ （公財）いづも財団助成事業助成金交付選定委員
- ⑥ 科学研究費「出雲系神話の成立と変容ーヤマタノオロチを中心にー」研究協力員（代表：淑徳大学森田喜久男 2018年4月～）
- ⑦ 国立民族学博物館文化資源共同研究員 2021年4月～
- ⑧ 観光庁地域観光資源の多言語解説整備支援事業内容監修者 2021年5月～2022年3月

守岡 正司（考古学）

1. 論文・寄稿・映像資料等

- ① 「益田市美都町本郷遺跡出土の湖州鏡」『中世石見における在地領主の動向』島根県古代文化センター研究論集第28集 島根県古代文化センター 2022年3月
- ② 共著「山口県周南市大向門前出土の陶磁器」『中世石見における在地領主の動向』島根県古代文化センター研究論集第28集 島根県古代文化センター 2022年3月
- ③ 「山口県萩市萩城跡出土の陶磁器」『中世石見における在地領主の動向』島根県古代文化センター研究論集第28集 島根県古代文化センター 2022年3月
- ④ 共著『COME on 山陰弥生ライフー米作り、はじめました。ー』 島根県立古代出雲歴史博物館 2021年9月17日
- ⑤ 共著『出雲と都を結ぶ道ー古代山陰道ー』 島根県立古代出雲歴史博物館 2022年3月18日

3. 学会発表・講演等

- ① 心に残る文化財子ども塾「奈良時代の浜田と奈良の大仏」 浜田市立旭小学校 2021年7月13日
- ② 古代史フォーラムIX「古代出雲から中世」 島根大学 2022年3月5日

4. 展示活動

- ① 企画展「Come on 山陰弥生ライフー米作り、はじめました。」（副担当）島根県立古代出雲歴史博物館 2021年9月17日～11月14日
- ② 企画展「出雲と都を結ぶ道ー古代山陰道ー」（副担当）島根県立古代出雲歴史博物館 2022年3月18日～5月

15日

原田 敏照（考古学）

1. 論文・寄稿・映像資料等

- ① 共著『COME on 山陰弥生ライフル米作り、はじめました。ー』 島根県立古代出雲歴史博物館 2021年9月17日
- ② 「山陰弥生ライフルの始まりー稲作文化 時間をかけ浸透ー」『山陰中央新報』 2021年9月19日
- ③ 「COME on 山陰弥生ライフル米作り、はじめました。ー」『大社の史話』208 2021年10月12日
- ④ 「COME on 山陰弥生ライフル米作り、はじめました。ー」『季刊文化財』153号 2021年10月22日
- ⑤ 共著『出雲と都を結ぶ道ー古代山陰道ー』 島根県立古代出雲歴史博物館 2022年3月18日

3. 学会発表・講演等

- ① 心に残る文化財子ども塾「佐田地区周辺の奈良時代の遺跡と出雲国風土記」 出雲市立佐田中学校 2021年5月31日
- ② 島根県立古代出雲歴史博物館アテンダント研修講座「土器について」 島根県立古代出雲歴史博物館 2021年12月9日

4. 展示活動

- ① 奈良県立橿原考古学研究所附属博物館蔵品巡回特別展「しきしまの大和へ 奈良大発掘スペシャル」（副担当） 島根県立古代出雲歴史博物館 2021年3月19日～5月17日
- ② 企画展「COME on 山陰弥生ライフル米作り、はじめました。ー」（主担当） 島根県立古代出雲歴史博物館 2021年9月17日～11月14日
- ③ 企画展「出雲と都を結ぶ道ー古代山陰道ー」（副担当） 島根県立古代出雲歴史博物館 2022年3月18日～5月15日

岡 宏三（近世史）

1. 論文・寄稿・映像資料等

- ① 「佐陀神能をめぐる宗教者と祭祀ー神能成立の過程を中心にー」山本ひろ子・松尾恒一・福田晃編『神楽の中世ー宗教芸能の地平へー』三弥井書店 2021年5月15日

3. 学会発表・講演等

- ① 「松江市大庭の速玉神事ー16世紀末、出雲における社家の組織化についてー」中国地方神楽研究会 オンライン開催 2021年7月18日
- ② 「社会史的にみた近世島根の医療」第122回日本医史学会オンライン島根大会 教育講演 2021年9月18日～19日配信
- ③ 「謡曲「御崎」の検証」出雲神楽の研究検討会 2021年10月9日 島根県古代文化センター
- ④ 出雲高校PDG z セミナー 出雲高校 2021年11月11日
- ⑤ 「日常の食卓と花餅」TONOMACHI63文化講座 松江今井書店 2022年1月22日
- ⑥ 「城下町松江が育んだそば文化」松江そば文化ブランド化推進協議会設立総会 松江ニューアーバンホテル 2022年1月31日
- ⑦ 「弁天島周辺を歩く」ブロンズネットワーク講座 出雲市大社町杵築西弁天島周辺 2022年3月12日
- ⑧ 「医者としても活躍した神主」須我神社文書調査報告会 2022年3月13日
- ⑨ 「江戸後期の地図事情と神田家」松江歴史館企画展「松江藩と絵図」記念講演会第2回 2022年3月21日 松江歴史館
- ⑩ 「門前町杵築と近世出雲大社ー神宮の影響」（仮） 伊勢と出雲研究検討会 島根県埋蔵文化財調査センター 2022年3月23日
- ⑪ 「死なないヤマタノヲロチ」島根県生コンクリート工業組合写真研修 2022年3月24日
- ⑫ 「出雲そばの歴史」TONOMACHI63文化講座 松江今井書店 2022年3月26日

4. 展示活動

- ① ミニ企画「津和野藩お抱え絵師 三浦紫畹のリアリティー」島根県立古代出雲歴史博物館 2021年 4月21日～6月14日
- ② ミニ企画「筒描きと緋」島根県立古代出雲歴史博物館 2021年 8月18日～10月18日
- ③ ミニ企画「神在月と縁結び」島根県立古代出雲歴史博物館 2021年10月20日～12月20日
- ④ ミニ企画「寅年にちなんで「猫」展」島根県立古代出雲歴史博物館 2021年12月22日～2022年 1月26日・2月21日～3月14日

5. 外部委員・講師等

- ① 出雲市文化財保護審議委員（2005年 4月～）
- ② 島根県立図書館古文書を読む会講師（2014年 4月～）
- ③ いづも財団助成事業審議委員（2014年 4月～）
- ④ 科学研究費「出雲国造北島家文書の総合的研究」研究協力委員（代表：国士舘大学藤森馨 2018年 4月～）
- ⑤ 科学研究費「出雲系神話の成立と変容ーヤマタノヲロチを中心にー」研究協力員（代表：淑徳大学森田喜久男 2018年 4月～）
- ⑥ 科学研究費「神楽の中世的世界とその変容」研究協力員（代表：仏教大学斎藤英喜 2019年 4月～）

勝部 智明（考古学）

1. 論文・寄稿・映像資料等

- ① いまどき島根の歴史171「牛耕」『山陰中央新報』 2021年 4月11日

3. 学会発表・講演等

- ① 古代出雲文化シンポジウム パネルディスカッション「考古学的成果からみた5世紀の出雲」 収録 2021年11月28日

4. 展示活動

- ① 埋蔵文化財調査センター発掘速報展（主担当） 島根県立古代出雲歴史博物館 2021年10月13日～10月25日
- ② 企画展「出雲と都を結ぶ道ー古代山陰道ー」（副担当） 島根県立古代出雲歴史博物館 2022年 3月18日～5月15日

是田 敦（考古学）

1. 論文・寄稿・映像資料等

- ① 「山陰両県における古代道路の特徴」『山陰における古代交通の研究』島根県古代文化センター調査研究論集第27集 島根県古代文化センター 2022年 3月31日
- ② 「出雲国の地域計画」『山陰における古代交通の研究』島根県古代文化センター調査研究論集第27集 島根県古代文化センター 2022年 3月31日
- ③ いまどき島根の歴史213「出雲と都を結ぶ道ー古代山陰道ー」『山陰中央新報』 2022年 3月20日

4. 展示活動

- ① 企画展「出雲と都を結ぶ道ー古代山陰道ー」（主担当）島根県立古代出雲歴史博物館 2022年 3月18日～5月15日

藤原 宏夫（民俗学）

1. 論文・寄稿・映像資料等

- ① 「特別展「子ども／おもちゃの博覧会」について」『山陰中央新報』 2021年 7月 4日
- ② 「神楽能「天神」考」『民俗芸能研究』第71号 民俗芸能学会 2021年 9月30日
- ③ 「神楽面」『世界の仮面文化事典』 丸善出版 2022年 2月
- ④ 「松江神職舞楽会について」『湖都松江』43号 松江市文化協会 2022年 3月

3. 学会発表・講演等

- ① シマネスクくにびき学園講義「石見神楽の歴史と現在」 島根県立西部総合福祉センターいわみーる 2021年11月30日

② 「しまねの民俗芸能（神楽）」（島根県立大学「しまね文化論」の1講） 島根県立大学松江キャンパス 2021年12月16日

③ 鰐淵文化講演会「島根県指定文化財 唐川神楽について」 鰐淵コミュニティセンター 2022年2月17日

4. 展示活動

① 特別展「子ども／おもちゃの博覧会」（主担当）島根県立古代出雲歴史博物館 2021年7月2日～8月22日

5. 外部委員・講師等

① 国立民族学博物館文化資源共同研究員 2021年6月17日～2022年3月31日

② 益田市文化財保護審議会委員 2020年4月～

③ 広島市阿刀神楽調査検討会議委員 2021年4月～

④ 民俗芸能学会評議員 2021年4月～2023年3月

⑤ シマネスクくにびき学園西部校講師 2021年4月～2022年3月

⑥ 島根県高等学校文化連盟主催「第21回 郷土芸能の集い」伝承芸能部門審査員 2021年12月12日

増田 浩太（考古学）

1. 論文・寄稿・映像資料等

① 企画展『COME on 山陰弥生ライフ 米作り、はじめました』展示図録 島根県立古代出雲歴史博物館 2021年9月22日

② 共著『荒神谷遺跡青銅器群の研究』島根県古代文化センター 2022年3月31日

3. 学会発表・講演等

① 「国宝の管理について 島根県立古代出雲歴史博物館の事例」博物館コレクション管理研究会 第2回 2021年10月20日

4. 展示活動

① 特別展「ししまの和大へ 奈良大発掘スペシャル」（主担当） 島根県立古代出雲歴史博物館 2021年3月19日～5月17日

② 企画展「COME on 山陰弥生ライフ 米作り、はじめました」（副担当） 島根県立古代出雲歴史博物館 2021年9月17日～11月14日

澤田 正明（保存科学）

1. 論文・寄稿・映像資料等

① 共著「大久保間歩で発見されたドッグスパイクへのトレハロース法の適用とその評価—その1 ドッグスパイクの状態調査」『石見銀山遺跡科学調査報告書5』島根県教育委員会・大田市教育委員会 2022年3月31日

② 共著「大久保間歩で発見されたドッグスパイクへのトレハロース法の適用とその評価—その2 トレハロースによるドッグスパイクの保存処理」『石見銀山遺跡科学調査報告書5』島根県教育委員会・大田市教育委員会 2022年3月31日

③ 共著『荒神谷遺跡青銅器群の研究』 島根県立古代文化センター 2022年3月31日

5. 外部委員・講師等

① 島根大学嘱託講師 2021年10月～2022年1月

渡部 麻生（考古学）

1. 論文・寄稿・映像資料等

① 共著「COME on 山陰弥生ライフ—米作り、はじめました。—」島根県立古代出雲歴史博物館 2021年9月17日

2. 研究報告等

① テーマ研究 古代隠岐の形成と特質 第3回検討会共同報告「隠岐国分尼寺出土資料の調査」 2021年9月7日

3. 学会発表・講演等

- ① 心に残る文化財子ども塾「古代の出雲 佐田町周辺の遺跡」 出雲市立佐田中学校 2021年5月31日
- ② 出前授業「古代出雲歴史博物館について」 津和野町立日原中学校 2021年10月20日

4. 展示活動

- ① 特別展「子ども／おもちゃの博覧会」(副担当) 島根県立古代出雲歴史博物館 2021年7月2日～8月22日
- ② 企画展「COME on 山陰弥生ライフー米作り、はじめました。ー」(副担当) 島根県立古代出雲歴史博物館 2021年9月17日～11月14日

5. 外部委員・講師等

- ① 令和3年度国立民族学博物館文化資源共同研究員

濱田 恒志（仏教美術史）

1. 論文・寄稿・映像資料等

- ① 「広島・二位神社男女神像と東旭院観音菩薩立像および二天王立像―三原市新指定文化財の紹介―」、『美術史学』第43号 2022年3月31日

2. 研究報告

- ① テーマ研究 出雲と伊勢 第4回検討会報告「出雲の仏像・神像にみる「地域性」の問題」 2022年3月23日

3. 学会発表・講演等

- ① 「尾三地域の神像・仏像」 広島県神社庁第五ブロック研修会 於三原市・糸碓神社 2021年6月21日

4. 展示活動

- ① 「後鳥羽上皇遷幸八百年記念 後鳥羽上皇と隠岐」(副担当) 2021年6月16日～8月16日 古代出雲歴史博物館テーマ別展示室

5. 外部委員・講師等

- ① 新尾道市史文化財編執筆者・調査員 2017年2月～
- ② 三原市文化財保護審議会委員 2019年5月～
- ③ 島根県立大学非常勤講師 2021年10月～2022年3月

伊藤 大貴（中世史）

1. 論文・寄稿・映像資料等

- ① 「山名時氏・師義―大勢力を築いた中国地方の重鎮」 亀田俊和・杉山一弥編『南北朝武将列伝 北朝編』戎光祥出版 2021年6月
- ② 「れきはくの古文書について―尼子勝久書状の紹介―」『れきはくNEWS』53号 2021年8月
- ③ 「河村昭一著『若狭武田氏と家臣団』」『史学雑誌』130巻8号 2021年9月
- ④ 「備後金沢氏の素性について」『戦国史研究』83号 2022年2月
- ⑤ 「石見吉見氏と室町幕府」『中世石見における在地領主の動向』島根県古代文化センター研究論集第28集 島根県古代文化センター 2022年3月

3. 学会発表・講演等

- ① 心に残る文化財子ども塾「佐田地区周辺の奈良時代の遺跡と出雲国風土記」 出雲市立佐田中学校 2021年5月31日
- ② 心に残る文化財子ども塾「ふるさとの歴史と大仏建立・古代のお金を知る」 大田市立大田小学校 2021年7月6日
- ③ 出雲市教育研究会小・中学校社会科部研修会「戦国・江戸時代の出雲地方史」 島根県立古代出雲歴史博物館 2021年7月30日
- ④ 第2回竹矢マスター養成講座「大仏パネル体験」 松江市立竹矢小学校 2021年8月3日
- ⑤ 心に残る文化財子ども塾「ふるさとの歴史と大仏建立」 出雲市立灘分小学校 2021年10月29日
- ⑥ まつえ市民大学マイスターコース「中世山陰の流通経済と石見銀山」 松江市市民活動センター 2021年11月5日

⑦ 大阪歴史学会中世史部会11月例会「明徳の乱と山名氏」 オンライン開催 2021年11月26日

⑧ 島根の歴史文化講座+オンライン「南北朝内乱と出雲国」 松江テルサ 2021年11月28日

4. 展示活動

① ミニ企画「後鳥羽上皇遷幸八百年記念 後鳥羽上皇と隠岐」 島根県立古代出雲歴史博物館 2021年6月16日～8月16日

橋本 剛（古代史）

1. 論文・寄稿・映像資料等

① 『『出雲国風土記』の正倉と交通』『山陰における古代交通の研究』島根県古代文化センター調査研究論集第27集 島根県古代文化センター 2022年3月

② 「古代山陰道交通関係史料集成（稿）』『山陰における古代交通の研究』島根県古代文化センター調査研究論集第27集 島根県古代文化センター 2022年3月

③ 共著『出雲と都を結ぶ道—古代山陰道—』（列品解説・コラム） 島根県立古代出雲歴史博物館 2022年3月

2. 研究報告等

① テーマ研究 出雲と伊勢 第4回検討会「平安初期の神郡と出雲・伊勢」 2022年3月23日

3. 学会発表・講演等

① 続日本紀研究会例会「『国司専当制』の特質」 オンライン 2021年5月21日

② 心に残る文化財子ども塾「佐田地区周辺の奈良時代の遺跡と出雲国風土記」 出雲市立佐田中学校 2021年5月31日

③ 心に残る文化財子ども塾「ふるさとの歴史と大仏建立・古代のお金を知る」 大田市立大田小学校 2021年7月6日

④ 第2回竹矢マスター養成講座「大仏パネル体験」 松江市立竹矢小学校 2021年8月3日

⑤ 第32回出雲古代史研究会大会「古代の山陰・山陽連絡路について」 サンラボーむらくも 2021年8月22日

⑥ 心に残る文化財子ども塾「ふるさとの歴史と大仏建立」 出雲市立灘分小学校 2021年10月29日

⑦ 第5回三館連携シンポジウム 古代日本の酒文化「神話・伝承からみた古代出雲と酒文化」 奈良県立万葉文化館 2021年10月31日

⑧ 出前授業「国引き神話について」 出雲市立長浜小学校 2021年11月9日

⑨ 島根史学会大会「交替使の終焉—平安時代国司交替監察制度の行方—」 労働会館 2021年12月4日

4. 展示活動

① 特別展「子ども／おもちゃの博覧会」（副担当） 島根県立古代出雲歴史博物館 2021年7月2日～8月22日

② 企画展「出雲と都を結ぶ道—古代山陰道—」（副担当） 島根県立古代出雲歴史博物館 2022年3月18日～5月15日

5. 外部委員・講師等

① 国立民族学博物館文化資源共同研究員 2021年6月～2022年3月

古代文化センター企画運営委員会委員名簿

委員長	佐藤 信	東京大学名誉教授
職務代理者	引野 道生	山陰中央新報社編集局報道部編集委員
委員	久留島 典子	神奈川大学国際日本学部教授
	坂井 秀弥	公益財団法人大阪府文化財センター理事長
	関沢 まゆみ	国立歴史民俗博物館教授・総合研究大学院大学教授
	仁藤 敦史	国立歴史民俗博物館教授・総合研究大学院大学教授
	俵 木 悟	成城大学文芸学部教授
	山村 亜希	京都大学地球環境学堂教授
	山村 桃子	島根県立大学人間文化学部准教授
	山本 悦世	岡山大学埋蔵文化財調査研究センター特任教授

(令和4年3月現在 委員長・職務代理者以外の委員は50音順)

古代文化センター客員研究員名簿

【考古基礎資料調査研究】

大橋 泰夫	島根大学法文学部教授
大谷 晃二	島根県立三刀屋高等学校教諭
吉田 広	愛媛大学ミュージアム教授
村田 裕一	山口大学人文学部准教授
岩本 崇	島根大学法文学部准教授

【風土記調査研究】

(今年度は委嘱なし)

【祭礼行事調査研究】

山路 興造	民俗芸能学会代表理事・前島根県文化財保護審議会議長
笹原 亮二	国立民族学博物館教授
山崎 亮	島根大学人間科学部教授
久保田 裕道	東京文化財研究所無形文化遺産部無形民俗文化財研究室・室長

【中世・近世史料の多角的研究】

小林 准士	島根大学法文学部教授
西田 友広	東京大学史料編纂所准教授

【テーマ研究】

(出雲神楽の研究)

山路 興造	民俗芸能学会代表理事・前島根県文化財保護審議会議長
中野 洋平	島根県立大学人間文化学部准教授
錦 織 稔之	出雲市立佐田中学校教諭

(古代出雲と吉備の交流)

宇垣 匡雅	岡山県立博物館主任
大久保 徹也	徳島文理大学文学部教授
會下 和宏	島根大学研究・学術情報本部総合博物館教授

(近世近代の交通と地域社会経済)

木部 和昭	山口大学経済学部教授
-------	------------

	平 山 昇	神奈川大学国際日本学部准教授
	下向井 紀 彦	公益財団法人三井文庫主任研究員
(出雲と伊勢)		
	藤 森 馨	国士舘大学教授
	榎 村 寛 之	三重県立斎宮歴史博物館主査
	穂 積 裕 昌	三重県埋蔵文化財センター調査研究 4 課長
	塩 川 哲 朗	皇學館大学神道研究所助教
(古代隠岐の形成と特質)		
	大 橋 泰 夫	島根大学法文学部教授
	花 谷 浩	出雲弥生の森博物館館長
	市 大 樹	大阪大学大学院教授
(島根県域における弥生社会の総合的研究)		
	吉 田 広	愛媛大学ミュージアム教授
	若 林 邦 彦	同志社大学歴史資料館教授
	會 下 和 宏	島根大学研究・学術情報機構総合博物館教授
	寺 前 直 人	駒澤大学文学部教授
	平 郡 達 哉	島根大学法文学部准教授
(中世山陰の戦争と地域社会)		
	中 井 均	滋賀県立大学名誉教授
	山 本 浩 樹	龍谷大学文学部教授
	長谷川 博 史	島根大学教育学部教授

古代文化センター

センター長	角 田 徳 幸	古代出雲歴史博物館職員（兼務）	
主 席 研 究 員	平 石 充 *	調 整 監	品 川 知 彦
企 画 員	岩 井 由 紀	〃	守 岡 正 司
専 門 研 究 員	久保田 一 郎 *	主 席 研 究 員	原 田 敏 照
〃	目 次 謙 一 *○	専 門 研 究 員	岡 宏 三
〃	東 森 晋 *	〃	勝 部 智 明
〃	松 尾 充 晶 *	〃	是 田 敦
〃	石 山 祥 子 *	〃	藤 原 宏 夫
主 任 研 究 員	中 安 恵 一 *	〃	増 田 浩 太
〃	吉 松 大 志 *	〃	澤 田 正 明
〃	浅 沼 政 誌 *	主 任 研 究 員	渡 部 麻 生
研 究 員	田 村 亨 *	〃	濱 田 恒 志
特 任 研 究 員	野々村 安 浩	〃	伊 藤 大 貴
〃	廣 江 耕 史	研 究 員	橋 本 剛
〃	岩 本 真 実		
〃	面 坪 紀 久		
調 査 研 究 補 助	成 合 真紗美		

（* 古代出雲歴史博物館兼務、○益田市駐在）

〈考古基礎資料調査研究・古代文化テーマ研究事業〉 文化財課

文化財グループ

企 画 員	矢 野 健太郎
〃	吉 永 壮 志

管理指導スタッフ

調 整 監	池 淵 俊 一
企 画 幹	田 原 淳 史
世界遺産室	
専 門 研 究 員	倉 恒 康 一

埋蔵文化財調査センター

高速道路S調整監	熱 田 貴 保
管 理 課 長	深 田 浩
〃 企 画 幹	神 柱 靖 彦
調 査 第 一 課 長	林 健 亮
調 査 第 一 係 長	仁 木 聡
調 査 第 一 係 主 任 主 事	真 木 大 空
〃 主 事	鈴 木 七 奈

調 査 第 二 課 長	岩 橋 孝 典
調 査 第 二 係 主 任 主 事	今 福 拓 哉
〃 主 任 主 事	吉 松 優 希
調 査 第 三 係 長	東 山 信 治
〃 主 任 主 事	岩 崎 孝 平
会 計 年 度 任 用 職 員	上 山 晶 子

島根県古代文化センター研究紀要『古代文化研究』投稿要項

1. 島根県古代文化センター研究紀要（以下「紀要」という）は、広義の古代文化に関する研究論文・研究ノート・研究資料・書評等を掲載することにより、古代文化研究の発展に寄与するものです。
2. 原則として、紀要は本誌のほか島根県古代文化センターのホームページで電子公開します。
3. 紀要に投稿することができる者は、次のとおりです。
 - (1) 島根県古代文化センター（以下「センター」という）の専任・兼務職員、客員研究員、共同研究員及びセンターの組織・運営に関与したことがある者
 - (2) その他、島根県古代文化センター編集委員会（以下「編集委員会」という）において適当と認めた者
4. 投稿原稿は未発表のものに限ります。ただし、既発表資料等でも新たな視点で論述したものは可とします。また、投稿本数については、原則として研究論文・研究ノート・研究資料・書評等1人あたり各1本までとします。
5. 投稿する文字原稿は電子データに限ります。また、その様式は下記のとおりとします。
 - (1) 横書き 1頁 50字×40行の左右1段組（2,000字）。
 - (2) 縦書き 1頁 37字×25行の上下2段組（1,850字）。ただし、縦書きは37字×25行の段組なしの形態でも結構です。
6. 投稿する論文や研究ノートは、原則として上述の様式で24ページ以内とします。
7. 投稿に際しての提出物は、下記のとおりです。
 - (1) 紙上にプリントアウトした原稿
 - (2) 文字原稿及び図版・写真のデータ
 - ・ワープロ原稿の場合は、機種とソフトを明記したCD（必ず控えを保管しておいてください）を提出してください。
 - ・図版や写真を使用する場合は、原稿と同時に提出してください。図版や写真を後で提出されても受理しません。また図版や写真の掲載位置を示したレイアウト見本を添付してください。
 - ・挿図、写真はデジタルデータでの投稿が可能です。使用できるOS、ソフトについて事前に問い合わせてください。
 - (3) 使用図版、写真等の掲載及び電子公開に関する、所有者及び著作権者等からの許可証
 - ・許可申請は執筆者が行ってください。様式は任意で構いません。
8. 投稿をご希望の場合は、エントリーシートを当該年度の4月1日より7月31日までに提出し、エントリーシート提出後9月30日までに完成原稿を提出してください。これらの期限を過ぎた場合は、当該年度の紀要への掲載をお断りすることがあります。
9. エントリーシート及び原稿は、下記問い合わせ先の住所またはメールアドレス宛へ提出してください。なお、エントリーシートはセンターのホームページからダウンロードできます。
10. 原稿の採否及び編集については編集委員会が決定します。なお、投稿原稿の返却を希望する場合は申し出てください。
11. 掲載の場合は、「紀要」2部並びに抜刷50部に限り贈呈します。
12. 原稿料の支払い、掲載料の徴収は行いません。
13. 掲載原稿の転載については、編集委員会にご相談ください。

■ 問い合わせ先

〒690-8502 松江市殿町1番地 島根県庁第三分庁舎
島根県古代文化センター編集委員会
TEL 0852 (22) 6727 FAX 0852 (22) 6728
E-mail kodai@pref.shimane.lg.jp
ホームページ
<https://shimane-kodaibunka.jp>

古代文化研究 第30号

発行日	令和4（2022）年3月31日
編集	島根県古代文化センター 〒690-8502 島根県松江市殿町1番地 島根県第三分庁舎 TEL 0852（22）6727 FAX 0852（22）6728 https://shimane-kodaibunka.jp https://www.facebook.com/shimane.kodai
発行	島根県教育委員会
印刷・製本	松陽印刷所 〒690-0826 松江市学園南二丁目3番11号
